



いまばり

8月1日号

2021年/令和3年

第66号

市議会だより

発行 ■ 今治市議会議長 今治市別宮町1丁目4-1 TEL0898-36-1580 FAX0898-36-1582
編集 ■ 広報広聴特別委員会 ホームページ ■ <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>



鈍川溪谷（玉川町）

令和3年度
一般会計補正予算
10億7,100万円
原案可決

もくじ

5月臨時会……………	2	議案の審議結果……………	10
代表質問……………	3	意見書提出……………	11
一般質問……………	4	議会日誌……………	12
質疑・委員会審査……………	7	表彰状の伝達……………	12

5月臨時会のあらまし

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者等への対応のため、臨時会が5月7日に開催されました。

提案された一般会計補正予算案は、委員会に付託し、委員会審査を行いました。

審査終了後、本会議を再開し、委員長報告の後に、提案された一般会計補正予算案の採決を行い、原案のとおり可決して、臨時会を閉会しました。

委員会審査

総務委員会

専決処分について・今治市市税条例等の一部を改正する条例制定について

地方税法及び地方税法施行令の改正に伴う所要の改正。

①新型コロナウイルス感染症等の影響に対応する

ため、一定期間内に住宅の取得等に係る契約を行い、令和3年1月から令和4年12月までに入居した場合、適用期間13年の所得税の住宅ローン控除の適用を受けることができる特例が設けられたことに伴う、個人市民税における住宅ローン控除の適用期間の改定。

②軽自動車の環境性能割の税率区分の見直しと臨時的軽減の延長。

③平成30年7月豪雨の被災住宅用地等に係る特例措置の拡充。

教育厚生委員会

専決処分について・令和3年度今治市一般会計補正予算(第2号)

障害福祉施設に対し、新たに当該障害福祉施設に入所する、市内に住所を有する利用者を対象にPCR検査等を行った際にその費用の一部を補助するもの。

高齢者施設に新たに入所する、市内に住所を有する高齢者等に対し、PCR検査等の費用を一部助成するもの。

文化・スポーツ活動において、他団体との交流

がある大会等の参加者に対し、PCR検査費用の一部を補助するもの。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する状況を踏まえ、低所得の子育て世帯を対象に、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。

障害者福祉推進費

新型コロナウイルスワクチン接種のためタクシーを利用する要介護者等にタクシー運賃の一部を支援し、接種率向上による感染拡大防止を促進するもの。

産業環境委員会

専決処分について・令和3年度今治市一般会計補正予算(第2号)

市内に事業所を有する法人または個人事業主に對し、その従業員等が市外出張や市外からの来客対応等の業務に従事し、新型コロナウイルス感染症の懸念がある者であつて、行政検査の対象外と

なる無症状者である場合に実施する、PCR検査費用の一部を補助するもの。

飲食店営業時間短縮要請協力事業費

愛媛県の営業時間短縮要請に応じた市内の飲食店に協力を給付し、感染拡大防止と事業者の経営継続支援を図るもの。

感染症対策事業者応援事業費

飲食店の営業時間短縮や外出自粛等の影響を受けている中小企業者等に対し、3密回避の徹底などの感染症対策を講じ、事業継続に取り組むための応援金を支給するもの。

建設水道委員会

専決処分について・令和2年度今治市駐車場特別会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による駐車場使用料収入の不足に伴い、駐車場整備運営基金繰入金を補正し、不足分を補うもの。

令和3年5月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果
		5月7日議決
議案 65	専決処分について ・今治市市税条例等の一部を改正する条例制定について ・令和2年度 今治市一般会計補正予算(第11号) ・令和2年度 今治市駐車場特別会計補正予算(第1号) ・令和3年度 今治市一般会計補正予算(第1号) ・令和3年度 今治市一般会計補正予算(第2号)	原案承認(全会一致)
議案64	令和3年度 今治市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
報告 2	専決処分について ・和解について ・訴訟の和解について ・損害賠償額の決定及び和解について	受 理

6月定例会のあらまし

今定例会は、10日から28日までの19日間の会期で開催され、10日の本会議では、令和3年度の補正予算案が3件、条例案が4件、その他の議案が7件、報告案件が6件、合わせて20件が提案されました。

14日は、代表質問と提案された議案への質疑が行われ、15日、16日の2日間は、8人の議員が市政への一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、16日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。

28日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。この後、理事者から、令和3年度一般会計補正予算が追加提案され、原案のとおり可決しました。次に、教育厚生委員会から、請願第1号に係る意見書提出の発議を行い、原案のとおり可決しました。最後に市長の閉会挨拶を行い、今定例会を閉会しました。

代表質問



政常会
(越智 豊)

防災について

Q

災害対策基本法の改正があり、災害時に出す避難情報の見直しが決まり、5月20日から運用が開始されています。改正の最大の狙いは、「住民にいち早く逃げてもらうこと」が考えられます。避難場所などの確保においても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染症対策の対応もしっかりしなければならず、このことについてどのように考えていますか。

A

避難所運営においては、例年より多くの避難所を開設することや体調不良者が避難される場合には、一般の避難所とは別に専用の避難所を案内することとしています。感染症対策としては、十分な換気、ソーシャルディスタンス

Q

災害発生時の情報の伝達方法について、大雨や強風時には、屋外スピーカーから流れる内容が、聞き取りにくいことが想像されますが、住民への伝達方法についてお聞きします。

A

同報系防災行政無線だけに頼るのではなく、緊急告知ラジオや緊急速報メール、各種SNSやテレビ等活用できる様々な手段で伝達することとしています。屋外スピーカーで聞き取りにくいといった場合、その内容を聞くことができる「緊急告知放送確認専用ダイヤル（0898-2316010）」を備えて、対応しています。

島嶼部での暮らしを守る活性化策について



音輪会
(矢野雄嗣)

Q

しまなみ総合事務所設置に向けたこれまでの検討状況と今後の進め方についてお尋ねします。

A

しまなみ総合事務所は令和4年4月の稼働開始に向け、市民が真ん中課にて準備会を設置し総合事務所集約する事務、現在の支所との関係性について、現状把握等調査を進めており、8月には島嶼部各支所長を含めたプロジェクトチームを発足する予定です。

Q

しまなみ海道通行料実質無料化について、どのように進める考えかお尋ねします。

A

避けては通れない大きな地域課題であり、オール今治で取り組むべき政治課題であると認識しています。まずは令和6年度以降の現在の料金設定の維持と、更なる引下げの検討を愛媛県と協力しながら強く要望していきたいと考えています。

ほかの質問

島嶼部の産業や魅力を生かした振興について



創政会 (松田敏彦)

瀬戸内クロスポイント構想の実現について

瀬戸内クロスポイント構想における今治あきない商社(仮称)の役割について。

「瀬戸内クロスポイント構想」実現の中枢となる組織が「今治あきない商社」である。魅力ある産品などの地域資源を発掘し、磨き上げ、国内外に強力に発信し、販路開拓を戦略的に進めていくとともに、地域の稼ぐ力を創出しながら地域経済の好循環を生み出し、さらには関係人口の拡大、雇用の創出、定住・移住促進等へとつないでいく、地域経済活性化の司令塔としての役割を担うものにしていきたい。

アフターコロナ時代に向けて、地域

経済回復の牽引役として、優先して取り組むべき事業についての考えは。

本議会に瀬戸内クロスポイント構想の実現に向けた、

「今治の産業パワーアップ推進事業」にも取り組むこととしている。この事業は、新しい技術、新しい視点を全国から見つけ出し、地域企業の持つ強みと融合させ、これまでにない高付加価値な商品やサービスを生み出そうとするものである。

ほかの質問

- 市長の政治姿勢について
新しい時代に向けた移住・定住施策の充実・強化について



上村 悦男 (清風会)

今治市教育に関する大綱について

市長は、次代を担う子供たちのために、今後どのような考えや思いをもち、「今治市教育に関する大綱」の策定に当たられるのか。

未来を担う子供たちの健やかな成長を、大人が、そして地域が社会全体で支えていくことは、変わることにない私たちの重要な使命である。そのためのサポートを、教育委員会をはじめ関係機関と手を取り合い、家庭、学校、地域という三つの力が相互補完的に連携することで、地域全体がつながりを持つことが教育の目指すべき方向である。

新型コロナウイルスに対応し、学校現場のICT化を迅速に進める一方、教室や校外でのリアルな授業体験も大切である。また、地域で支え育てた子供に、地域の産業をもっと知ってもらい、地域での雇用につながる産業教育などにも力を入れたい。このようなデジタルとリアルをミックスさせた新しい形を「今治独自のメソッド」として確立し、子供からも保護者からも、そして現場の教師からも評価されるようになることを期待しており、こうしたことも盛り込んだ「子どもが真ん中の教育大綱」というものを策定したいと考えている。

ほかの質問

- 教育委員会との連携の在り方について
学校の在り方の検討に関する考えについて
義務教育学校制度の活用等による小中一貫教育の導入について



山岡 健一 (無会派)

学校給食調理場施設運営について

学校給食提供の基礎となる市内21施設の調理設備等の環境や正確に安全に配送するための配送車両の衛生管理・整備の状況について。

調理場の中には、老朽化が進んでいる施設・設備等もございりますが、必要性の高いものから順次、改修工事や設備・備品の更新を進めてまいります。施設、配送車両など設備・備品の衛生管理につきましても、文部科学省が定める「学校給食衛生管理基準」、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき適切な実施に努めてまいります。

11か所の共同調理場のうち、7か所で給食配送車両運転手が兼務しているところがありますが、運転手が病気やけが等で出勤できなくなった場合や配送車両が故障した場合の対応の準備について。

給食配送車両の運転を調理場の場長等が行っている調理場におきましては、場長等が出勤できない場合の運転手の代替措置は、待機運転手又は各支所地域教育課職員等が対応しております。また、万一配送車両が故障した場合、学校給食課職員及び支所職員等が公用車を用いて配送を行い、対応することにしております。

荷台リフトの操作の状況や後方カメラの装備等安全面への取組について。

荷台リフトに関しては、ましては、運転手が十分安全確認を行いなから慎重に操作しておりますが、車両の後方カメラにつきましては、順次整備をしております。



永井 隆文 (公明党)

国民健康保険について

Q 運営状況と今後の見通しについて。

A 本市の国民健康保険事業は人口減少などにより毎年2000人程度の被保険者が減少し、さらには加入者の高齢化、医療の高度化による一人当たりの医療費の増加等と相まって非常に厳しい財政状況が続いています。国民健康保険の財政調整基金は令和元年度にほぼ全額を取り崩しており本来であれば今年度、税率を引き上げることを検討せざるを得ない状況でありましたが繰越金を充当することにより令和3年度の国民健康保険税については何とか据え置くことができると判断しました。しかし今治市の国民健康保険財政は非常に厳しい状

況であることにより変わりはありませぬ。次年度以降についても被保険者の皆様の負担をできる限り抑制できませう、医療費の適正化、被保険者の健康保持、増進を図っていくとともに保険税の減免制度の活用、徴収猶予や納税相談など、一人一人に寄り添ったきめ細かな対応に努めながら、安定的な制度運営に取り組んでまいりたいと考えています。



松田 澄子 (日本共産党)

保育所の運営について

Q 3歳未満児の保育料は有料だが、人数や保育料は令和3年3月末でどのようになっているか。

A 公立保育所・認定こども園の3歳未満児は452人、保育料は約9100万円となっている。

Q 3歳以上児の副食費は世帯の所得で異なるが、副食費は3月末でどのくらいか。また、副食費を免除し、子育て支援とすべきと考えるが、市の考えを伺う。

A 公立保育所・認定こども園の3歳以上児の副食費は約2800万円である。また、年収360万円未満相当世帯の副食費は免除しており、対象者は約37%に当たる322人である。

ある。食料費は、在宅で子育てする場合でも生じる費用なので保護者に負担いただいている。子育て世代を応援する施策については、調査研究を進めたい。



谷口 芳史 (公明党)

新型コロナウイルスの影響を受けている海事業への支援について

Q 市の基幹産業である海事業は中国・韓国等との国際競争の激化や新型コロナウイルスの影響により厳しい状況に陥っています。影響は本市の海事業の大小様々な形態の業種に及んでいます。国も支援を打ち出していますが、手が届きにくいところもありました。昨年、関係自治体とともに要望活動を行い、「海事業の未来を共創する全国市区町村長の会」を立ち上げたとき、中心となる本市はどのように取り組んできたのか、また、今後の活動について、どう取り組む予定なのかお聞かせください。

A 昨年、会を立ち上げ、国や国会議員

等には海事業に対する支援等の要望活動を開始しました。海事業関連企業のある32の自治体が会員で、代表世話人を今治市長が務めさせていただいています。これまでに法律の成立、予算・税制面や雇用調整助成金の特例措置延長などの成果があり、要望書の提出やオンライン会議で国会議員や国土交通省の海事局長に地域の切実な声を届けました。市長就任後、市内の海事業関連企業に足を運んで現場の声を聞き、業種や規模に応じた市独自のきめ細かな支援を行う必要性を痛感いたしました。感染拡大が収まった際には上京して国に対しても支援の要望を行いたいと考えております。

ほかの質問

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 住宅リフォーム助成制度について

ほかの質問

- 新型コロナウイルス感染症拡大時における広報広聴について
- これからの今治市の広報広聴について
- 児童館について
- 児童公園（街区公園）について



壺内 和彦
(清風会)

新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後の見通しについて

Q 一般接種の今後の展望について。

A 一般接種は約8万人となり、医師会の全面的な協力を得ることができ、県内でもいち早く接種体制の構築ができました。平日の昼間は仕事や学校等で接種が難しい方も多いと思われるため、個別接種、土日の集団接種や県の職域接種支援チームと連携し、実施に向けて迅速に進めたいと考えています。

Q ワクチン接種の副反応の実際の現状について。

A ワクチンは体内に投与し免疫反応を

誘導するため、副反応が生じる場合があり、特に2回目接種時が多いようですが、ほとんどが軽傷から中等度となります。今後も副反応の情報には注視してまいります。

飲食店等への支援について

Q 飲食店等への今後の営業継続支援について。

A 「愛顔の安心飲食店認証制度」の取得や、市独自の「飲食店新たなチャレンジ支援事業」を活用いただくとともに、G.O.T.O Eat事業と連動させ、「飲食店プレミアムクーポン」にて切れ目のない支援を行ってまいります。

ほかの質問

- ワクチン接種の迅速な対応の効果と現在の状況
- 一般ワクチン接種の優先順位の検討について
- 協力金等の申請状況と今後の見通し



内山 葉子
(政常会)

新型コロナウイルス感染症拡大による生活困窮者への支援の現状と今後の取組について

Q コロナ禍で日本社会は大きく様変わりし、生活困窮者は以前から増えつつあったものの、長期化で職を失ったり、収入が減ったり、その日の食事にさえ困る家庭や人々が急増している。また、全国的には生活保護の条件には当てはまらないまでも、生活に不安のある人々が生活資金の相談に各自自治体や社会福祉協議会に相談に訪れる件数が増加している。今治市は市民の命を守るため、生活困窮者の現状をどのように把握し分析されているのか。

A 日本には生活保護という最後のセーフティネットはあるものの、その利用のハードルは高いと感じている。コロナ禍の今こそ、市民が安心して生活できるセーフティネット機能の強化を図る必要があるのではないか。そこで今後の取組についてどのように考えているのか。

ほかの質問

- 子育て支援のいまばりファミリーサポートセンターの相互援助体制について
- デジタル化・DXの推進について



黒川 美樹
(優風会)

女性の相談体制について

Q コロナ禍で、男性はもとより女性の困難や不安の深刻化が浮き彫りとなっており、この度相談窓口が新設するが、女性相談と各担当との連携についての考えをお聞かせいただきたい。

A 土日でなければ相談に行けない方や、どこに相談に行ったらいいか分からない方などに対応するため、8月から「市民が真ん中相談センター」として体制を強化する。相談者が抱える課題の解決に向け、一緒に最善の解決策を検討し、相談者ができる限り移動することがないよう、ワンストップで休日も対応する。女性からの相談には、子育て支援課内の婦人相談や子育て世

島嶼部の生活道たるしまなみ海道の在り方と高齢者の交通について

Q 市長の大きなビジョンの中に、しまなみ海道通行料の無料化の検討が掲げられているところだが、とびしま海道を擁する広島県呉市では高齢者支援策としてバス専用カードを発行している。高齢者支援策の一步と公共交通の利用促進としてこのような補助メニューを島嶼部からモデル事業として始めてみてはどうか。

A 現在、「しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討プロジェクト」を立ち上げ、部局横断的にしまなみ海道の通行料の在り方を考えるところにあらゆる角度から調査検討を行う。市民の負担軽減に向け、実現可能な事業を検討する。

代包括支援センター、くらしの相談支援室と連携し対応する。

質疑

6月14日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。

発言者



山岡 健一
(無党派)

○議案第66号「令和3年度今治市一般会計補正予算(第4号)」について

1 歳出2款1項7目

しまなみ総合事務所等設置検討事業費について

(1)総合事務所の役割とは何か

(2)現在の支所機能の在り方について何を調査・検討をするのか

(3)タウンミーティング開催の計画について

2 歳出8款5項1目

しまなみ海道路行料実質無料化に向けた調査検討事業費について

(1)実質無料化とはどういうことを目標としているのか

(2)調査・検討の計画(タイムスケジュール)について



3 歳出10款5項3目

地域人を地域で活かす学校給食事業費について

(1)新メニューの開発について

(2)学校給食PR番組制作放送の計画について

委員会審査

総務委員会

システム開発費

住民情報システム等が稼働する共通基盤システムの耐用年数経過に伴う更新。

しまなみ総合事務所等設置検討事業費

しまなみ総合事務所設置と支所機能の在り方について調査、検討を行うための経費。

デジタル未来推進費

デジタル化等を推進し、スマートシティの実現を目指すデジタル未来戦略策定に向け、地域課題やニーズを把握するための基礎調査等を行うための経費。

近未来技術等実証実験プロジェクト事業費補助金

国家戦略特区制度を活用した近未来技術実証に関するワンストップセンターを設置し、自動運転やドローン等の近未来技術で社会課題の解決を図る取組を支援するもの。

災害対策費

防災に関する啓発及び災害情報の周知を図るため、ハザードマップ等をもとめた総合防災マップを作成し、市民に配布、周知するもの。

財産の取得について(高規格救急自動車)

中央消防署に配備(平成21年度)した高規格救急自動車の老朽化に伴う更新。

今治市辺地総合整備計画の策定等について

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条の規定により、今治市辺地総合整備

教育厚生委員会

計画の策定並びに変更について議会の議決を求めるもの。

今治市執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について

今治市市民が真ん中検討委員会を設置するもの。

今治市手数料条例の一部を改正する条例制定について

個人番号カード再交付手数料を廃止するもの。

令和3年度今治市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

令和2年度から令和3年度への繰越金から特定健康診査等負担金償還金の財源等を差し引いた残りを国民健康保険税に充当し、保険税率を据え置くもの。

子どもが真ん中応援事業費

新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない中、経済的または精神的不安を抱えて出産し、新生児を養育する子育て世帯を支援するため、子育て用品の購入に利用できる商品券（子どもが真ん中応援券）を交付するもの。

市民が真ん中相談センター事業費

市民相談室の相談窓口を休日にも開設するなど体制を拡充するとともに、365日駆け込み寺（総合相談窓口）の設置等に向けた検討を行うもの。

しまなみの子どもを育てる交通費支援事業費補助金

島嶼部に居住する妊婦・乳児の健診受診に加え、産婦健診、産後ケアの利用のほか、新たに小学生以下の児童の休日・夜間の受診に係る交通費についても補助の対象とするもの。

未来子育て支援事業費

今治版ネウボラ「未来子育て支援機構（仮称）」の創設に向けた調査・検討を行うものなど。

地域人を地域で活かす学校給食事業費

郷土愛を育む日本一おいしい給食の実現に向け、地元食材を活用した地域感あふれる学校給食について調査・検討を行うもの。



産業環境委員会

地域新電力調査検討事業費

エネルギーの地産地消に向けた地域新電力の調査・検討を行うもの。

今治の産業パワーアップ推進事業費

市内の小規模事業者等の強みと今治域外の技術・視点を融合した新商品等の開発を支援し、生産力・付加価値の向上と地域経済循環の加速につなげるもの。

移住交流推進事業費

アフターコロナ時代を見据えた移住・定住施策の推進に向けて、地域課題や移住希望者のニーズを踏まえ、これからの移住・定住戦略について調査・検討を行うものなど。

今治あきない商社（仮称）設立推進事業費

地域外から稼ぐ力を創出し、地域経済の好循環を生み出し、交流人口の増加、雇用の創出、移住・定住の推進など、本市が抱えている地域課題の解決を図る地域総合商社「今治あきない商社（仮称）」の設立に向けた調査・検討を行うもの。

本会議のインターネット中継について



ここをクリック

今治市議会では、開かれた議会を目指して、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧ください。なお、録画放送はライブ中継配信の日付から30日間を経過すると自動で削除されますので、ご注意ください。

同時に多くの方がインターネット中継を視聴された場合、映像がうまく映らないことがあります。また、本会議の様子は、インターネット配信のほか、今治CATV（株）のコミュニティチャンネル（11CH）でもライブ中継されています。

本会議のインターネット中継の視聴方法

今治市議会ホームページの「市議会インターネット中継」をクリックする。

地域農業振興事務費

多様な担い手を確保・育成していくため、募集から研修、就農、経営発展、経営継承までを一貫した支援により、意欲ある担い手を確保するものなど。

市営土地改良事業の施行について

市営土地改良事業を施行するもの。延喜地区(今治 かんがい排水)

建設水道委員会

水産資源活用促進事業費

漁業者の高齢化や担い手不足により漁獲量が減少する中、今治産水産物の消費・販売の拡大と漁業者の収益力の向上を図るため、未利用魚など水産資源の活用について調査・検討を行うもの。

治水施設整備事業費

御物川中土手排水ポンプ場改良工事(令和3年度～令和4年度)及び移設補償金。

しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業費

生活道としてのしまなみ海道通行料金負担軽減に係る調査・検討を行うもの。

四村団地建替事業費

四村団地6号棟建設工事(令和3年度～令和4年度)RC造3階建 30戸 1948.05㎡

今治市土地開発許可等手数料条例の一部を改正する条例制定について

優良宅地造成認定申請手数料及び開発行為許可申請手数料を改定するもの。

今治市建築関係手数料条例の一部を改正する条例制定について

確認申請手数料及び完了検査申請手数料を改定し、その他所要の改正をするもの。

市道の認定について

道路法第8条の規定により、東鳥生18号線等15路線を市道に認定するもの。

地方創生特別委員会

離島航路事業費

令和2年度(令和元年10月1日～令和2年9月30日)運航に伴う欠損に対する補助。

- ① 波止浜～来島～小島～馬島航路
- ② 今治～津島(吉海航路)
- ③ 宮窪～鶴島(宮窪)～尾浦(伯方)航路



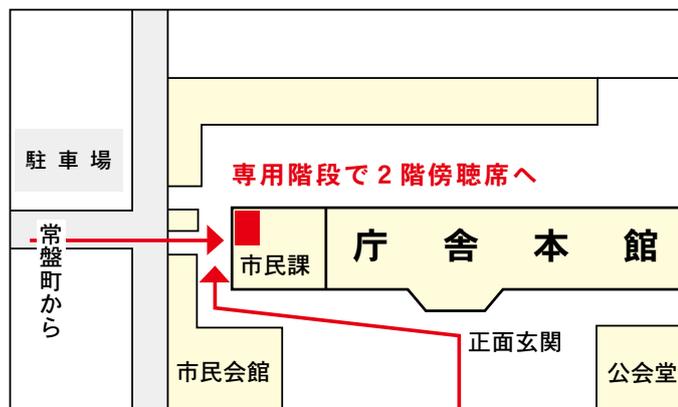
市議会を傍聴してみませんか

— 市政と議員の活動を知るよい機会です —

本会議の傍聴

本会議の当日、市役所本館市民課裏入口から2階へお上がりください。受付で住所・氏名などをご記入の上、傍聴席にお入りください。定員は80人です。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議の傍聴席は通常80席ですが、間隔を空けて座るように対策をしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



市議会傍聴席案内図

委員会の傍聴

委員会の開会10分前までに市役所本館3階の議会事務局で受付をし、傍聴許可証の交付を受けてから、委員会の許可を得て傍聴できます。許可証の交付は原則5人までで、定員を超える場合は抽選で傍聴者を決定します。

令和3年6月定例会 議案の審議結果

番 号	件 名	結 果
		6月28日議決
議案 66	令和3年度 今治市一般会計補正予算（第4号）	原案可決(賛成多数)
議案 67	令和3年度 今治市港湾事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決(全会一致)
議案 68	令和3年度 今治市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決(全会一致)
議案 69	今治市執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 70	今治市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 71	今治市土地開発許可等手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 72	今治市建築関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 73	財産の取得について（高規格救急自動車）	原案可決(全会一致)
議案 74	財産の取得について（大型提示装置）	原案可決(全会一致)
議案 75	今治市辺地総合整備計画の策定について	原案可決(全会一致)
議案 76	今治市辺地総合整備計画の変更について	原案可決(全会一致)
議案 77	市営土地改良事業の施行について（延喜地区）	原案可決(全会一致)
議案 78	市道の認定について	原案可決(全会一致)
議案 79	公有水面埋立てについて（大三島地区造船振興土地造成）	原案可決(全会一致)
報告 3	専決処分について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について	受 理
報告 4	繰越計算書の提出について	受 理
報告 5	繰越計算書の提出について（水道事業会計）	受 理
報告 6	繰越計算書の提出について（工業用水道事業会計）	受 理
報告 7	繰越計算書の提出について（公共下水道事業会計）	受 理

番 号	件 名	結 果
報告 8	法人の経営状況について ・一般財団法人今治文化振興会 ・公益財団法人河野育英会 ・公益財団法人檜垣育英会 ・公益財団法人加根又育英会 ・一般財団法人今治勤労福祉事業団 ・一般財団法人今治市多目的温泉保養館管理公社	受 理
議案 80	令和3年度 今治市一般会計補正予算（第5号）	原案可決(全会一致)
発議 5	地方たばこ税を分煙環境の整備に活用できる制度の整備を求める意見書の提出について	原案可決(全会一致)

令和3年6月定例会 請願・陳情の審議結果

【前議会から継続しているもの】

番 号	件 名	結 果
請願第1号 (R3.3.10受理)	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願について	採択(全会一致)

【今議会に提出されたもの】

番 号	件 名	結 果
陳情第1号 (R3.6.10受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査

各議員の議案等に対する賛否状況 令和3年第4回定例会（令和3年6月28日議決分）

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
番号	内山葉子	上村悦男	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	森本真博	永井隆文	松田澄子	達川雄一郎	羽藤謙一	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	木村文広	渡部豊	谷口芳史	近藤博	森田博	矢野雄嗣	森京典	越智卓三	中村誠	松岡一誠	井手洋行	平田秀夫	加藤明	寺井政博	松田敏彦	堀田順人
議案 66	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対

※ 近藤 博議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

意 見 書 提 出

「地方たばこ税を分煙環境の整備に活用できる制度の整備を求める意見書」

地方自治法第99条の規定により、令和3年6月28日、国会並びに関係行政庁に意見書を提出しました。



令和3年3月

4日 近藤議長、渡部副議長就任挨拶のため四

国中央市、新居浜市へ出張

8日 近藤議長、渡部副議長就任挨拶のため松山市へ出張

30日 会派代表者会議

” 広報広聴特別委員会

4月 議会運営委員会

26日 議会運営委員会

30日 議会運営委員会

5月 第3回臨時会

7日 会派代表者会議

”

6月 新居浜市議会議長、副議長就任挨拶のため来局

3日

”

”

”

”

表彰状の伝達

全国市議会議長会、四国市議会議長会から、次の方々には表彰状が贈られました。

■全国市議会議長会

○議員在職30年以上

松田 敏彦 議員

○議員在職25年以上

寺井 政博 議員

○議員在職20年以上

堀田 順人 議員

越智 豊 議員

○議員在職15年以上

重松 真司 前議員

○議員在職10年以上

達川 雄一郎 議員

■四国市議会議長会

○正副議長3年以上

堀田 順人 議員

○議員在職20年以上

堀田 順人 議員
越智 豊 議員

○議員在職16年以上

森 京典 議員

○議員在職12年以上

越智 忍 議員

藤原 秀博 議員

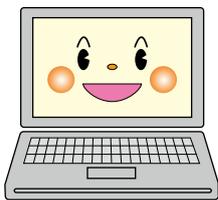
野間 有造 議員

山岡 健一 議員

暑中お見舞い
申し上げます

今治市議会議員一同

市議会ホームページへアクセスしてみませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。



アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはFAXでお寄せください。お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp

広報広聴特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
松田	木村	達川	永井	黒川	上村	内山	森
敏彦	文広	雄一郎	隆文	美樹	悦男	葉子	京典
							卓三